

## 令和6年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議議事要旨

日 時：令和7年2月13日（木）13:00～15:00

場 所：多治見市産業文化センター3階大会議室

- 出席： 中島徹会長、松村三千代副会長、森内佐和子委員、松森東二委員、  
成瀬芳憲委員、田口秀春委員、加藤高久委員、水野貫二委員、林正勝委員、  
若尾卓男委員、伊藤啓治委員、榊岡正代委員、田中伸次委員、吉川幹委員、  
星野秀樹委員、高橋加代子委員、松岡由佳子委員、水野磨意子委員、  
羽根田真理子委員、大内真理子委員、舩渡歆子委員（順不同）  
＜アドバイザー＞岐阜市芥見東自治会連合会 山田正行会長、後藤憲次副会長  
＜岐阜県＞県民生活課 地域の絆づくり支援専門職 中島基泰氏
- 欠席： 古川義之委員、渡邊政江委員
- 事務局： 前田高齢福祉課長、大中高齢者支援グループリーダー、  
藤井第2層生活支援コーディネーター、  
田立第2層生活支援コーディネーター、高齢福祉課中上

事務局

本日は、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。  
開会に先立ちまして、事務局からご連絡いたします。

配付資料の確認をしたいと思います。

- ① 令和6年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議次第
- ② 多治見市生活支援体制整備推進会議委員名簿
- ③ 多治見市生活支援体制整備推進会議委員席次表
- ④ 社会資源一覧表
- ⑤ 岐阜市芥見東自治会連合会からご提供いただいた資料

本日机上に配付させていただいておりますのでご確認ください。

なお、本日の会議は、午後3時ごろを目処に会議の終了を予定しておりますので、ご了承ください。

事務局からの連絡は以上となります。

会 長

それでは、ただいまから令和6年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議を開会します。

本日の会議は、多治見市情報公開条例第23条に基づき公開となりますが、議論の内容等によって、個人が特定されるような部分は一部非公開とする場合もあります。議事録については、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認いただいた後に、委員名や個人が特定されるような内容などは公表せず、ホームページ上で公開させていただきます。

なお、議事録作成のため、会議中は委員の皆様のお話を録音させていただいておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

本日の会議は、お忙しいところ、岐阜市芥見東自治会連合会会長である山田さんと副会長である後藤さんにアドバイザーとしてお越しいただき、「絆を結ぶまちづくり」をテーマに、芥見東地区での取組みについてお話いただきます。

この生活支援体制整備推進会議については、平成30年度から開催しており、今年度で7年目になりました。令和4年度・5年度の会議では、「潜在的な担い手を発掘」「参加に導くためのきっかけづくり」をテーマとしたグループ討議を行い、委員のみなさまのご意見をまとめてヒント集を作成しました。これまでグループ討議を中心に会議を実施してきましたが、いろいろな形式の会議を通じて、みなさまのこれからの地域での活動のヒントになる会議ができればと思い、今回は他市の先進的な活動を聞く会議とさせていただきます。委員のみなさんも地域でさまざまな取組みを行っていらっしゃると思いますが、山田さんと後藤さんのお話を聞いていただき、今後の活動がさらに活発になるきっかけとなれば良いかと思います。

山田さん、後藤さんにお話いただいた後は、お二人と委員のみなさんで意見交流もできたらと考えていますのでよろしくをお願いします。

なお、今回は、岐阜県の「地域の課題解決応援事業」を活用しています。それでは、山田さん、後藤さん、よろしくをお願いします。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

「絆を結ぶまちづくり」

【説明内容（まとめ）】

#### 1. 芥見東地区の概要と現状について

- ・昭和40年代に出来た県下最大級のマンモス団地（大洞緑団地）である
- ・急速に進む少子高齢化により現在の高齢化率は4割強であり、単身高齢者の独り暮らしが多く、空き家も増加傾向にある
- ・地域の活動は、自治会連合会、地域福祉協議会、民生児童委員、小中学校等と連携して「芥見東まちづくりビジョン」を作成し、地域の活性化、居場所づくり、つながりづくりを目的とした各種の活動により、絆を結ぶまちづくりをおこなっている

#### 2. 活動の事例

- ・ふるさと良くし隊：オレンジ帽子とオレンジジャンパーを着用して、登下校時に子どもたちの安全を守る。
- ・自治会だよりの月刊化：情報の共有化を目指して、住民からの情報や意見についても発信する（ガラス張りの自治会）。
- ・芥見東まちづくり協議会：まちづくり協議会と連合自治会等の連携。
- ・みどりっこバス：足の不自由な方や高齢者の乗車等をサポートする、ボランティアも乗車しているコミュニティバス。通院・買い物などの

地域の足となっている

- ・みどりっこちゃん：みどりっこバスのキャラクター「みどりっこちゃんの歌」、「みどりっこちゃん音頭」等の制作
- ・芥見東防犯パトロール隊：青色回転灯防犯パトロールカーで「みどりっこちゃんの歌」をBGMとして流しながら行う、地域の安全の呼びかけ活動。
- ・大洞の里山つくろう会：毎月第4土曜日に、大洞の里山の自然環境保全を実施
- ・見守り愛チーム：近隣の4~8軒の住民でチームを作り、お互いに見守り、助け合う
- ・小さな手助け：社会福祉協議会による、庭木の剪定や買い物等のちょっとした手助け
- ・みどりっこマーケット：住民が趣味で制作したブローチ、財布、帽子等を、住民自らで販売する場所の提供。
- ・カラオケ機器導入：コミュニティ補助金で導入したカラオケ機器で、誰でも気楽に参加できるカラオケ教室、カラオケ祭りを開催。
- ・みどりっこハウス：空き家を利用して、将棋、囲碁、介護相談などによる地域の活性化
- ・婚活：新たに芥見東地区に居住してもらえることを目的とした婚活ランチ会など

### 3. いかにつながりを作るか

- ・井戸端会議のような誰でもつながれる場所として、みどりっこバスのバス停にベンチを設置
- ・敬老会や記念式典では、開会、閉会の言葉を藍川東中学生にお願いするなど、地域の住民と子どもたちが三世代交流が出来るようにしている
- ・「芥見東市民運動会」は「芥見東市民うんどうかい」と名称を変更して、子どもたちを中心とした場となるよう企画。「夏祭り盆踊り大会」も「夏まつり」の名称に変更。盆踊りは休止して、子ども神輿や子どもたちによる「芥見東ソーラン」へと内容を変えて住民のつながりの場としている。また、模擬店やキッチンカーでの集客方法などの取り組みもおこなった

会 長

山田さん、後藤さん、ありがとうございます。

それでは、これから委員のみなさんから山田さんと後藤さんに聞きたいことや感想など、意見交流の時間とさせていただきます。何かご感想、ご意見、ご質問などがあればお願いします。

委員

私の地域は 300 世帯 900 人ほどの小さな地域であり、バスを借り上げることは資金的にも難しいため、「あいのりタクシー」というものを利用しています。免許証を返納した高齢者が増えている中で、あいのりタクシーは 1 乗車 1 人 500 円であり、2 人乗れば 1,000 円となります。利用者はわりと多いのですが財政面は厳しい状況です。みどりっこバスのバス借上料金など、財政面を教えてください。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

みどりっこバスは 1 回乗車すると 100 円であり、この料金体系では黒字になることは難しいです。赤字分については、岐阜市が補填してくれるのですが、収支率などいろいろなハードルがあり、クリアすれば補填してくれます。「クリアしなければこの事業をやめる」と言われますが、収支率、営業利益などが大きく関わってくるため、市は地域に運営協議会を作らせ、事業運営を地域に任せています。みどりっこバスは、岐阜市内でも採算性は一番良いと思います。コミュニティバスであり、家からだいたい 200 メートルぐらいごとにバス停を作りました。バス停はたくさんあっても、乗降者がいなければ停まらなくても良いため、大変かもしれませんが、バス停はできる限り多くあった方が良く、地域の皆さんも喜んでいきます。ヘルパーは利用者の荷物が重くなる帰りの支援が大変です。あとは広告収入があり、近くの病院やいろいろなところへお願いして、バスの外側と車内に広告を掲示しています。乗車料金と広告収入を収入源として計上し、岐阜市がその部分を見て判断します。コロナの時は利用人数が激減しましたが、岐阜市内 19 地区を走っているコミュニティバスにはみなさんもありがたいと喜んでいきます。乗合バスが走っていた時には全然利用がなかったのですが、現在低床のみどりっこバスと地域の力が入っていることは良かったと考えています。

委員

みどりっこバスは、1 日 16 便、午前 10 時から午後 7 時までの過密スケジュールで運行されていますが、ヘルパーは何人で活動されていますか。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

ヘルパーはできる限り午前中に活動してもらうようお願いしていますが、基本的にはご自身の都合の良い時間帯で良いとしている状況です。

委員

ヘルパーの人数確保が難しいと思います。私たちの地域も移送支援を実施していますが、なかなかボランティアが集まりません。芥見東地区のボランティア募集の方法を教えてください。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

ボランティアの募集については私たちも苦労しています。現在活動されているヘルパーの方も高齢になり、カーブの多い団地の中を走るバスに乗って、立ったままではいることは相当きついです。自治会だよりにヘルパー募集の記事を掲載していますが、ここ1年間全く応募がない状況です。ヘルパー制度についてはやめることができないため、何か良い方法がないか思案中です。ここ3年間ほど、自治会連合会の役員に女性が新しく加入され、現在5人います。現在、男性7人を合わせて合計12人で運営していますが、組織に女性がいると、イベントなどでも細やかな点に気づき、話をしていても女性の力は偉大だと感じます。組織にはある程度女性に入ってもらった方が、組織にとって良いと思います。

委員

私の地域は人口6,000人程度で、瀬戸市と隣接している地区です。夏には一大イベントである夏まつりを開催しており、地域の人口以上の人が参加されています。昨年も地域福祉協議会でブースを出展したところ、大盛況で今後も続けていく予定です。また、私たちの地区も山間地域にあり、里山づくりに力を入れています。毎週日曜日にボランティアで倒木整備、散策路整備、展望台づくりなどを最高齢88歳、最年少48歳、平均年齢68歳ぐらいの20人程度で、みんなとても楽しんで活動しています。高齢の方や小中学生などのいろいろな人が里山を使ってくれる、そこでひとつのコミュニティができることが非常にありがたく思っています。芥見東地区の里山づくりのメンバーは、みどりっこバスのヘルパーと同じ方なのか、他のメンバーで活動しているのか、構成を教えてください。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

メンバーは全く違います。山仕事に慣れた方、山の方に住んでいた方たちが活動しており、こちらもなかなか高齢化が進んでいますが、里山は本当にきれいになり、安心して歩くことができるようになりました。メンバーは15人ぐらいで90歳を超える方もいます。里山整備の活動日である毎月第4土曜日以外の日でも個人的に作業する里山好きの方もいます。里山整備の発端は、岐阜大学教授からの提案であり、岐阜大学の学生たちも時々活動に参加しています。メンバーの高齢化のため、今後どうしていくのか心配していますが、今はみんなが楽しく活動されています。この里山では松茸が出てくるという話を聞いたため、財産区と地主から権利を買っていますが、なかなか収穫できません。

委員

今日のお話で一番印象に残ったのは「つながりづくり」です。地域の中でつながりを作っていくことが大事であり、そのために「うんどうかい」で子どもたちを巻き込んだり、里山を整備されたりなど、いろいろなイベントに取り組んでいっしょにやることが分かりました。この多治見市生活支

援体制整備推進会議は各地域で活動されている地域福祉協議会に焦点を当て、集まっていただき話し合いをしています。自治会の力はとても大きく、一緒に活動すると良いという話が出ます。今後は自治会と地域福祉協議会との連携によるまちづくりがさらに必要になってくると思います。みどりっこハウスは地域福祉協議会で運営されていますが、自治会とどのように連携されているのでしょうか。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

みどりっこハウスは、空き家の持ち主を探し出し、交渉してお借りすることができました。本当に廉価で使用させていただいています。地域福祉協議会の役員に自治会連合会から2人出ており、週2日ほどみどりっこハウスへ当番に行っています。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

みどりっこハウスでは、コロナ前には午後にカラオケを行っていましたが、現在は休止しています。毎週水曜日と土曜日の午前9時から正午まで、コーヒーを飲みながらおしゃべりしてもらったり、将棋を指されたりしています。小学生の中でも将棋を教えてほしいという子どもたちに説明したりもします。みどりっこハウスは多世代交流の場にもなっていて、そういう場のお手伝いを自治会連合会も行っています。

委員

自治会と地域福祉協議会は人的にも交流されていることが分かりました。ありがとうございます。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

地域の2本柱みたいなものであるため、自治会と地域福祉協議会は連携しないといけないと思いますが、調整などなかなか難しい部分もあり、これからの課題だと思っています。

委員

先ほどの説明資料を見ると、町内会とまちづくり協議会と一緒に地域で活動している印象を受けましたが、そういうことでよろしいでしょうか。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

自治会が集まって自治会連合会を組織しているため、連合会からの動きとなります。まちづくり協議会はさらにその上に組織されているものであり、いろいろな団体が一緒になって活動するということになるため、まちづくり協議会がうまくいけば、地域挙げての活動につながります。例えば、夏まつりであれば、元々は自治会連合会が実施していましたが、他の団体は「やらされ感」いっぱい、「やってあげている」という気持ちが大きかったと思います。まちづくり協議会主催に変更して、最近やっとみなさんの意識も変わってきました。みなさんが楽しく活動してくださるので、やはりやり方は大事だと思いました。

委員

岐阜市は自治会加入率 6 割ほどですが、多治見市も 7 割を切っています。私たちの地域も町内会長のなり手がいないという問題を抱えています。ある人が「町内会長や区長は資料作成や配付などの雑用が多いため、市から委託で人を雇い、市と自治会を仲介する人が雑用を行ったら良いのではないか」と言ったのを聞いたことがありました。地域福祉協議会は市社会福祉協議会から事務作業を行う事務員 1 人を雇ってもらっているため、私たちは大変楽なのですが、そういうシステムが町内会長や区長にもあったら良いと感じています。多治見市にある 13 小学校区に市から事務費と運営費を支払い、1 人ずつ事務員を配置したらどうかと思っていますが、岐阜市にはそのようなシステムはありますか。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

市には「市民活動支援事業」という事業があり、その事業にはそういう橋渡しする人がいらっしゃると思いますが、まだ立ち上がったばかりで具体的には動いていないのが実情です。市から自治会連合会へ交付されるお金については、敬老会や 20 歳のつどいなどの事業に対しての補助金であり、地区ごとに開催しています。自治会連合会の会議に行くと、他の地区からも「自治会加入者が減ってきた」という話が出ますが、やはりどこも今のやり方がずっと続いている状況です。他には、分別回収助成金などのお金も交付されて活動しています。市からの配布物も全戸配布や回覧などいろいろありますが、自治会加入率が 50% 台だと、全戸配布といっても加入世帯のみになってしまいます。また、現在ごみ袋有料化の話が出ており、自治会加入世帯には無料でごみ袋が配付されるといった話も出ています。

委員

私たちの地域福祉協議会は、市社会福祉協議会から人件費をもらって事務員を雇い、その人がコピーや文書作成などの事務作業をすべて行います。自治会にも同じようなシステムがあると良いと思うのですが、岐阜市にもそういうシステムはないということですね。

岐阜市芥見東  
自治会連合会

そのようなシステムはありません。

委員

私たちの地域は「養正地域会議」を組織しており、区長、幼稚園保育園、小中学校、地域福祉協議会、民生児童委員、青少年まちづくり市民会議などのいろいろな団体が一緒に地域のことを話し合っていますが、その時にも区長からは雑用の多さについて話が出てきます。区長や町内会長のなり手がいない課題を解決するために、財政的に厳しいかと思いますが、市も何か支援していただければと思っています。

会 長

ありがとうございました。幼稚園保育園、小中学校などの若い人たちが参加し、次世代を担う人たちに地域を愛する気持ちを作っていく、また居場所づくりのためにいろいろな仕掛けづくりをされているなど、参考にさせていただくことが多くありました。自治会加入率の問題、担い手の育成などについても何か良い方法があれば、また教えていただきたいと思います。山田さんと後藤さんにお礼の意味も込めまして、委員のみなさんは拍手をお願いします。

<拍手>

会 長

山田さん、後藤さん、ありがとうございました。

では、その他のお知らせにうつります。

まず、第1層生活支援コーディネーターの森内さんから、社会資源一覧表の配布について、説明をお願いします。

委 員

本日お渡しした社会資源一覧表は、昨年のをベースに加除しました。買い物支援について、これまでは買い物場所を掲載していましたが、生活支援の観点から「買い物支援」に重点を置いたところが変更点です。委員のみなさんで何か情報がありましたら教えていただきたいと思います。

会 長

何かご質問やご意見があればお願いします。

～意見なし～

会 長

その他で事務局から何かあれば説明をお願いします。

事務局

生活支援体制整備事業は、誰もが、住み慣れた地域で自立した普段どおりの生活を送れるように支援するための体制を整備することとして、介護保険制度の中で位置づけられています。「こんな地域にしたい」という目標を達成するために、多治見市では、多治見市全域を第1層協議体、小学校区を第2層協議体としています。このうち、多治見市全域の第1層協議体として、この生活支援体制整備推進会議を設置しています。

また、地域で活動されているいろいろな団体の方々と一緒にそれぞれの地域に必要な支援を検討したり、開発したり、提供したりできるように、それぞれ調整役となる第1層及び第2層生活支援コーディネーターを配置してきました。これからの生活支援体制整備事業については、高齢者の介護予防の目的だけでなく、さらに「地域づくり」に重点を置いていく必要

があるため、これまでの第1層及び第2層生活支援コーディネーターの配置体制を変更し、市役所くらし人権課が進める「地域力向上推進事業」との連携をより強くしていきたいと考えており、現在調整を図っています。具体的には、第2層生活支援コーディネーターの配置をやめ、第2層生活支援コーディネーターが担っていた部分を、くらし人権課「地域力推進員」が担うものです。来年度からの体制については、この会議で改めてご説明させていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

会 長

委員のみなさまで何かご意見、ご質問があればお願いします。

～意見なし～

会 長

本日の議題は以上となります。

最後に、今年度この会議については終わりです。令和7年度も年2回会議を開催する予定です。開催の1月ほど前にご案内させていただきますので、ぜひご出席いただきますようお願いいたします。

これをもちまして令和6年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。